甲157号証

町2-1-4
kyo-np.co.jp
通信局・部
武蔵野 0422-43-2134
八王子 042-656-2313
町　田 042-728-6655
購読のお申し込み
0120-026-999
配達・集金お問い合わせ
03-6910-2556
広告のご用命
03-6910-2489

11統一地方選

当 区長に聞く

＜6＞

区民提案受けやすく改革

世田谷区長＝1期目
保坂展人氏（55）

自民党の都連と地元支部が分裂、保守層が二分した間隙を縫っての勝利。「支持を得たのは有効投票の三割。おごらず、最大公約数を探し、多くの人が必要と言うことをしたい」と謙虚に語る。一方、「区長は現場に近接しているだけに即応性を迫られる。細かなトラブルの解決に当たるのも、総理に負けず劣らず責任が重い」と受け止める。

脱原発だけでなく情報公開と住民参加も重点公約。区民提案を受ける一案として「プレゼンテーションができる区長室にしたい。メモがとれる大きな会議テーブルを置き、すぐにパワーポイントが使えるようにする」と区長室改造を考える。元国会の質問王は「区民が傍聴に来たりインターネットで見たり、消化試合でない、やりとりのおもしろい議会にしたい」と意気込む。

下北沢や京王線高架化など反対のある開発も、まずは「現状を把握し、住民の声を聞きたい。もっている情報は公開し、住民と誠意をもって話す」構えだ。（松村裕子）

わが区の防災策

保坂氏　災害対策の総点検をしたい。東京で直下型地震が起きたとき、80万を超える区民がどうなるか、シミュレーションをしたい。防災の日の訓練だけでは足りない。もう少し大勢で動いてみることが必要。その結果、足りないところを強化したい。

現在の防災計画では、放射能の被害を想定していない。浜岡原発（静岡県）の被害もシミュレーションしたい。全区民の安全を守れないなら、区長として、老朽化した原発から止めることを国に求めたい。そのために、暮らしのあり方を見直し、代替エネルギーを開発し、原発依存社会を変えることが必要だ。